

週報

こひつじ

第40巻 21号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

投壇通信

そのとき、神が「光よ。あれ。」と仰せられた。すると光ができた。神はその光をよしと見られた。そして神はこの光とやみとを区別された。神は、この光を昼と名づけ、このやみを夜と名づけられた。こうして夕があり、朝があった。(創世記一の三〜五)

その一 道本牧師のこと

八尾教会でお話させていただく通いました。一八歳から二一歳までは、今日が二度目です。前は、での三年間、そこでお世話になり古い会堂のときでしたから、二〇 ました。

年以上も前になるでしょうか。会社では、太陽電池の研究と製作をかねた部署におりました。一

私は、出身は熊本ですが、高校 本社研究所に転勤になったのを卒業すると大阪のシャープ電機が、奈良の教会では日曜学校などに入社しました。配属されたのはの奉仕を熱心にやっていました。大和郡山工場です。今は奈良工場で、大川先生にとっても残念がられました。そこで考えたすえに、奈

と名前が変わっています。教会は、当時、大川正己先生が 良工場の独身寮にそのまま残って、牧師をされていた奈良福音教会に そこから大阪の本社まで毎日通う

ことにしました。

近鉄線で鶴橋へ、そこから環状線に乗り換えて天王寺へ、さらに阪和線で、当時本社のあった西田辺まで通ったものです。

今回、ご奉仕させていただいた生駒の関西聖書学院(KBI)も近鉄奈良線の沿線にあります。当時のことを懐かしく思いだしながら生駒までまいりました。そんなわけで私も少しは大阪を知っていることになりました。

私が奈良の教会にいた頃、道本先生は神学生でした。奈良の教会で伝道集会があると、神学生の方がたが奉仕にこられます。当時、私は一八歳で、道本先生は一九歳。どちらもまだ少年です。年が近かったので親しくなりました。

修養会でもよく会いました。すると道本先生が言います。「こういう集会では、前列が『恵みの座』で、一番恵まれるんだ」そこでいっしょに前の席にすわると、今度は、「だれよりも先に祈ると、もっと恵まれる」

と言われ、きそって祈ったものです。

あの頃から、道本先生は、私のよき信仰の先輩だったのだと思います。

あれから何年がたったでしょう。六〇年です。

あの頃、私も、道本先生のあとを追って、KBIにゆこうと思っていました。大川牧師にも、そう勧められていました。

しかし、九州で私を信仰に導いてくれた宣教師に私は自分の将来を預けていました。やがてその宣教師がカナダから帰って来ると、奈良の寮まで私を訪ねてくれたのです。そして、今でも献身の思いがあるかと聞きます。「もちろんあります」と答えると、

「それなら神戸のオランダ人の宣教師のところまで訓練を受けなさい」と言われ、結局、そこに五年いました。

その後、結婚し、妻が手伝っていたアメリカ人宣教師が熊本の阿蘇に近い田舎の町で伝道を始めましたので、今度は、一年の約束で、

そこへ移ったのです。

ところが一年もたないうちに、「あとはおまえがやってくれ」と言つて、宣教師はさつさとアメリカに帰つてしまいました。

困りました。私は田舎で伝道するつもりはなく、それにはかなり抵抗があつたのです。が、結局、そこに残ることになり、そのまま五〇年が過ぎてしまいました。

そんなわけで道本先生とは道が分かれてしまいましたけれども、その後も、交流が続き、こうして、今日は、お招きいただいているというわけです。

でも六〇年は、長い年月です。今は、道本先生も私も、人生の夕暮れにさしかかっています。今日は、ですから、そんな話をさせていただけようと思つています。

（続）

第一礼拝が五二名、第二が五〇名、合計一〇二名（男三七、女六五）。それに子どもが五名、合わせて一〇七名でした。

（テネシー州）に住む米村牧師夫妻の長女真紀さんとその家族（ベイヤーダ家）が五月二七日から滞在しています。

ふたりの娘の名は上がメイで七歳、下がリンで一四歳、日本語は今、勉強中です。

メイさんは美術に、リンさんは音楽にそれぞれ関心があるようです。

米村牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp

（説教は米村牧師）

先週の礼拝

先週の出席

案内・報告

○説教は米村牧師

先週の礼拝

岡裕美さん。説教題は「ダビデと孤獨」。使徒の働き一三の二一から。神は自分の心になつた者として、ダビデを選ばれましたが、そんなダビデの心を教育したものは何であつたか。父でもなく、母でもなく、孤独な生活であつたと語りました。

神は、彼がひとり野にいるとき、彼を見いだされたのです。神が私たちを見いだされるのも、私たちが、ひとりいるときではないでしょうか。

先週の出席

案内・報告

（テネシー州）に住む米村牧師夫妻の長女真紀さんとその家族（ベイヤーダ家）が五月二七日から滞在しています。

ふたりの娘の名は上がメイで七歳、下がリンで一四歳、日本語は今、勉強中です。

メイさんは美術に、リンさんは音楽にそれぞれ関心があるようです。

米村牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp

（先週は第二礼拝のあと、軽い昼食をとりながら、交わりるときをもちました。コロナ禍以来、初めてのことです。三〇人ほどが残ってくださいました。今後も続ける予定です。

○英語、中国語、韓国語、日本語の四種類の「教会案内」ができあがっています。必要に応じてお使いください。

○坂田壮一、直子夫妻の長男飛鳥さんが六月七日に県立劇場でコンサートを開きます。入場料は三、五〇〇円。ぜひ、応援してあげてください。

○ベイヤーダ家族来会

アメリカのジョンソンシティ（テネシー州）に住む米村牧師夫妻の長女真紀さんとその家族（ベイヤーダ家）が五月二七日から滞在しています。

す。共通の関心はアニメ。滞在中は熊本出身の漫画家による人気漫画『ONE PIECE』（ワンピース）のキャラクタ―像を見て回るのを楽しみにしているそうです。六月七日に帰国予定。

モーレンカンブさん来会

六月二七日から七月一日までオランダからモーレンカンブさんが、孫のジャスタスさんと妻のサニールさんと一緒にこられます。三〇日の礼拝で、説教の予定です。米村牧師は、若い頃、モーレンカンブさんのもとで訓練を受けました。

モーレンカンブさんは今八七歳です。昨年、妻のフアニーさんを天に送り、今はひとりで暮らしながら、それでも毎週の日曜日は、近隣の教会の礼拝で説教を続けているそうです。少し足が不自由ですが、他は元気です。これまで何度も来てくださった方ですので覚えておられる方も多いかと思ひます。

米村牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp

（説教は米村牧師）

先週の礼拝

先週の出席

案内・報告

（テネシー州）に住む米村牧師夫妻の長女真紀さんとその家族（ベイヤーダ家）が五月二七日から滞在しています。

ふたりの娘の名は上がメイで七歳、下がリンで一四歳、日本語は今、勉強中です。

メイさんは美術に、リンさんは音楽にそれぞれ関心があるようです。

米村牧師のメールアドレス。
yonemura@ja2.so-net.ne.jp

（説教は米村牧師）

先週の礼拝